

実験名	コンクリートのブリーディング試験										JIS A 1123				3.4	
試験日	令和 年 月 日 曜 天候															
試験日の状態	気温 (°C)				室温 (°C)				湿度 (%)				水温 (°C)			
使用材料の種類及び品質																
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランブ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)										
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材 G		混和剤				
											mm mm	mm mm	(g/m ³)			
試料を容器につめ表面をこてでならした時刻									試料の温度 (°C)							
時間 (分)	10	20	30	40	50	60	90	120	150	180	210	240	270	300	330	360
吸いとった累加水量 V (ml)																
試料と容器の質量 (kg)																
容器の質量 (kg)																
試料の質量 (kg)																
容器の上面の面積 A (cm ²)																
ブリーディング量 $\frac{V}{A}$ (cm ³ /cm ²)																
ブリーディング率 (%)																
考 察	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>															
実 験 者	所 属															
	氏 名															

実 験 名		コンクリートの圧縮強度試験					JIS A 1108		3.5		
試 験 日		令和 年 月 日 曜 天候									
試 験 日 の 状 態		室 温 (°C)			湿 度 (%)			水 温 (°C)			
試 料											
示 方 配 合		粗骨材の 最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメ ント比 W/C (%)	空 気 量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)				
							水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材 G mm mm
材 齢 (日)											
養生方法					養生温度 (°C)						
供 試 体 番 号		1		2		3		4			
平均直径 (mm)											
断 面 積 (mm ²)											
平均高さ (mm)											
ス ラ ン プ (cm)											
質 量 (kg)											
最 大 荷 重 (N)											
圧 縮 強 度 (N/mm ²)											
平均圧縮強度 (N/mm ²)											
見 掛 け 密 度 (kg/m ³)											
平均見掛け密度 (kg/m ³)											
供試体の破壊状況の スケッチ											
考 察		----- -----									
実 験 者		所 属									
		氏 名									

実験名	コンクリートの割裂引張強度試験								JIS A 1113		3.6		
試験日	令和 年 月 日 曜 天候												
試験日の状態	室温 (°C)				湿度 (%)				水温 (°C)				
試験料													
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランブ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)						粗骨材 G (g/m ³)	混和剤 (g/m ³)
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材 $\begin{matrix} \text{mm} \\ \{ \\ \text{mm} \end{matrix}$	粗骨材 $\begin{matrix} \text{mm} \\ \{ \\ \text{mm} \end{matrix}$		
材 齢 (日)													
養生方法											養生温度 (°C)		
供試体番号	1			2			3			4			
平均直径 (mm)													
割れた面における長さの平均値 (mm)													
最大荷重 (N)													
割裂引張強度 (N/mm ²)													
平均割裂引張強度 (N/mm ²)													
供試体の破壊状況のスケッチ													
考 察	-----												

実験者	所 属												
	氏 名												

実験名	コンクリートの曲げ強度試験					JIS A 1106	3.7				
試験日	令和 年 月 日 曜 天候										
試験日の状態	室温 (°C)			湿度 (%)		水温 (°C)					
試験料											
示方配合	粗骨材の最大寸法	スランブ	水セメント比	空気量	細骨材率	単位量 (kg/m ³)					
	(mm)	(cm)	W/C (%)	(%)	s/a (%)	水	セメント	混和材	細骨材	粗骨材 G	混和剤
						W	C	F	S	$\left\{ \begin{matrix} \text{mm} \\ \text{mm} \end{matrix} \right.$	$\left\{ \begin{matrix} \text{mm} \\ \text{mm} \end{matrix} \right.$ (g/m ³)
材齢 (日)											
養生方法						養生温度 (°C)					
供試体番号	1		2		3		4				
平均幅 (mm)											
平均高さ (mm)											
スパン (mm)											
最大荷重 (N)											
曲げ強度 (N/mm ²)											
平均曲げ強度 (N/mm ²)											
破壊断面とこれに近い 支点との距離 (mm)											
供試体の破壊状況の スケッチ											
考察	----- ----- ----- ----- ----- -----										
実験者	所 属										
	氏 名										

実験名	コンクリートの静弾性係数試験			JIS A 1149	3.8
試験日	令和 年 月 日 曜 天候				
試験日の状態	温度 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)		
試験料					
材 齢 (日)					
養生方法				養生温度 (°C)	
载荷の方法					
供試体番号	1	2	3	4	
平均直径 (mm)					
断面積 (mm ²)					
平均高さ (mm)					
最大荷重 (N)					
圧縮強度 (N/mm ²)					
平均圧縮強度 (N/mm ²)					
供試体の破壊状況					
繰返しの場合の繰返し回数					
応力 S_1 (N/mm ²)					
応力 S_2 (N/mm ²)					
ひずみ ϵ_1					
静弾性係数 (kN/mm ²)					
平均静弾性係数 (kN/mm ²)					
考 察	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; min-height: 150px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 10px;">応力</div> <div style="flex-grow: 1; border-left: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; bottom: 10px; right: 10px; text-align: center;"> ひずみ 応力-ひずみ曲線 </div> </div> </div> </div>				

実 験 者	所 属				
	氏 名				

実験名	コンクリートの配合設計		3.9 a
試験日	令和 年 月 日 曜 天候		
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)
設計条件	----- -----		
試料	----- -----		
材料試験結果			
配合強度 $f'_{cr}(= a \cdot f'_{ck})$			
① 水セメント比の推定 W/C (%)		⑥ 空気量 (l)	
② 細骨材率の仮定 s/a (%)		⑦ 細骨材量 骨材絶対容積 a (l)	
③ 単位水量の計算 W (kg)		⑧ 細骨材絶対容積 s (l) 単位細骨材量 S (kg)	
④ 単位セメント量の 計算 C (kg) セメント絶対容積 (l)		⑨ 粗骨材絶対容積 (l) 単位粗骨材量 G (kg)	
⑤ 単位混和材量 F (kg)		⑩ 単位混和剤量 (g)	
考察	----- ----- ----- -----		
実験者	所 属		
	氏 名		

実験名	コンクリートの配合設計						3.9 b				
試験日	令和 年 月 日 曜 天候										
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)			水温 (°C)					
試料											
単位量 (1バッチ分) 試し練り	セメント量 (kg)	水量 (kg)	W/C (%)	s/a (%)	細骨材量 (kg)	粗骨材量 (kg)	スランプ (cm)	観察			
	第1バッチ	()	()			()	()				
	第2バッチ	()	()			()	()				
	第3バッチ	()	()			()	()				
	第4バッチ	()	()			()	()				
W/C に対する f'_c の平均値					()						
W/C (%)	C/W	s/a (%)	単位水量 W (kg)	単位セメント量 C (kg)	スランプ (cm)	f'_c の平均 (N/mm ²)					
計算											

							1.8 2.0 2.2				
							-----> C/W				
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m ³)					
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材 G	混和剤 (g/m ³)
現場配合											
考察											

実験者	所 属										
	氏 名										